

安達太良山 湯川

【日時】9月21日 【天気】曇り 【メンバ】CL 上茂 平野 砂田
【タイム】塩沢スキー場駐車場7:30～入渓8:00～三段滝
9:40～八幡滝10:40～霧降滝11:30～下山開始12:10～駐車場13:30

台風17号の影響で秋雨前線が刺激され雨模様の予報でしたが、だめもとで行ってみました。結果、予報が外れラッキーでした。

湯川は去年計画しましたが、アクシデントがあり入渓からほどなくして引き返せざるをえなければなりませんでした。再チャレンジとして行ってきました。

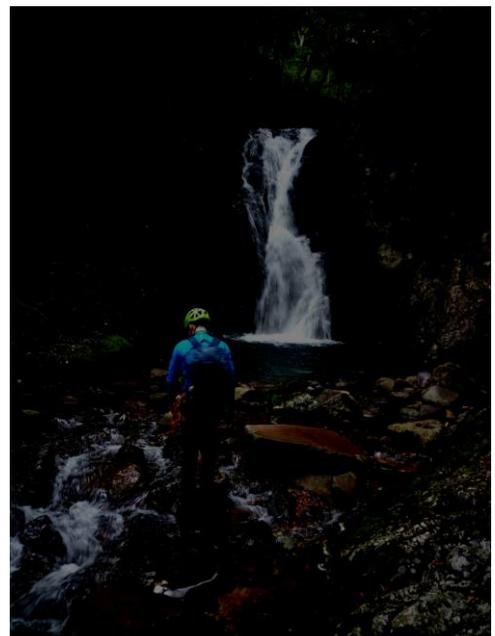
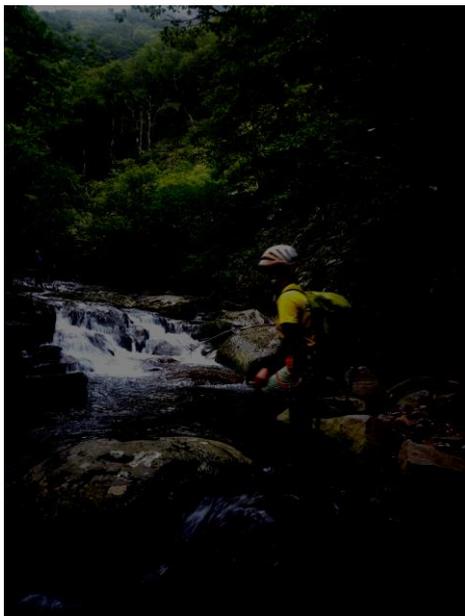
塩沢スキー場の駐車場から黒金温泉への登山道を歩いていくと分岐があり、右手に進むと湯川にかかる朽ちた橋が見えてきます。適当なところから入渓し遡行開始。しばらくはゴロ帯で茶色のがれた岩や石がゴロゴロしており暗い印象でしたが、季節の恵みキノコを発見。行く先々にあるのでなかなか進みません。ヌメリツバタケ、ヒラタケ、マスタケなどどんどんザックの中身が増してきます。

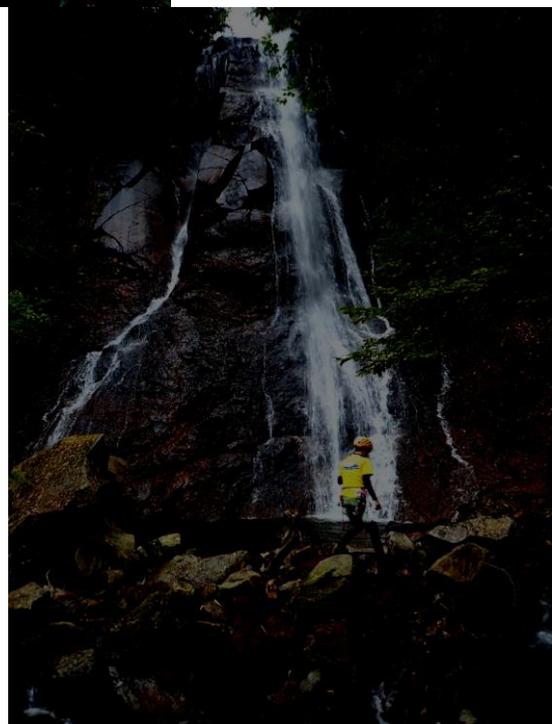
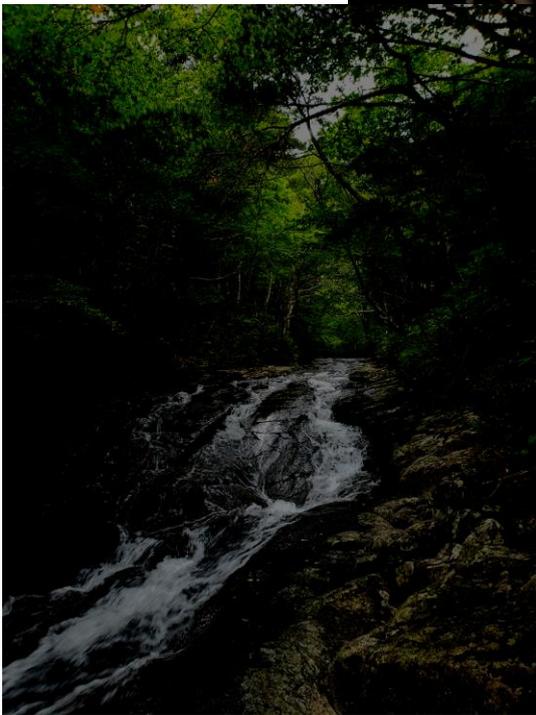
ゴロ帯から5M滝を左から登ると、景観もよくなり2段のなめ滝や癒しの滑床、三階の滝など、変化に富み、滝も水量があり迫力を感じますが、難しい登攀はありません。巻き道もしっかりあります。

ただ、側壁の脆さや浮石が多く、ヌメリがちな岩が多いので靴はフェルトが無難です。屏風岩を左に見上げ、二俣に達すると右俣に10M八幡滝が待っていました。黒金小屋への登山道から降りて滝を見学できるようです。ここから登山道で下山するので、荷物をデポして滝上の中の滝、霧降滝を見学しに行くことにしました。滝の右側から登っていきま。鎖があります。上はなめが続いており、中の滝は30Mのなめ滝、霧降の滝は豪快に水しぶきをを落としていました。そして同コースを戻り、登山道を下ります。

ゆっくりと下っていると目につくのがやはりキノコです。チタケ、ムラサキフウセンダケ、

そしてヒラタケを纏った古木が林の中にありました。三人で収穫に集中し、とうとう沢装備以上にキノコがザックを占領してしまいました。岳温泉350円にて汗を流し、買い出しを郡山で済ませ、明日の下戸倉沢のある塩原ダムまで移動し、某所にてキノコ汁宴会で明日に備えました。





塩原 箒川下戸倉沢

【日時】9月22日 【天気】晴れ

【タイム】7:30ゲート発～3号橋8:10～大滝10:20～大滝上発10:50～三号橋12:30
～ゲート13:30

目が覚めると日が差しており、冷え込みもなかったのもので銀マットと夏シュラフで外で寝ましたが、全然寒くありませんでした。この場所から10分ほど車で戻ると、林道ゲートに到

着。駐車スペースがあります。林道を3号橋まで歩いて行きます。30分で1号橋、3号橋まで10分ほど。橋を渡ったところから沢に降り入渓します。

この下戸倉沢はナメと小滝とゴーロが交互に出てきて、大部分がフリクションの良い岩質です。化石も出るというので何気を探しながら遡行するのも楽しみの一つです。

ナメは非常に快適でした。ちょっとした小滝は自分の登れる範囲で通過できます。そして本日の終着点下戸倉大滝は凹凸のないつるんとした滝で、手前にナメが広がり、優雅な姿でした。残念なことに大木がナメに倒れ込んでいましたが、滝観賞用のベンチとしてここに訪れる人は必ず座る事でしょう。滝の上を目指し、右岸の小尾根を登っていきます。すると仕事道が通っていたので、下山は道を探しながら降りていきます。途中で見失うのですが、行けるところは沢を降りたりしながら3号橋に到着。ゲートに戻り時間に余裕があるので、塩原温泉街から少し離れた穴場の温泉ホテルで入浴（500円）高速に向かう途中で塩原名物ひたしそばを食べました。美味しかったので満足して帰りました。

